

<p>遠浅小から遠浅墓地を入り、農道を通って土建会社の看板のある国道へ抜けるルートを経由して欲しい。自由乗降区間を希望。商店や銀行、内科や歯科医院に行きたい。毎日利用するわけではないので、せめて週に数便でも乗れるようにして欲しい。</p>	④	<p>ご希望の経路、目的地、乗車頻度を勘案すると、早来新栄から早来市街地までを移動できるデマンドバスが適当な交通手段であると考えますので、公共交通の役割分担の趣旨と併せてご理解をお願いします。循環バスは、大きく地区を跨ぐ移動目的のための公共交通に位置づけており、同一エリア内の移動を担うデマンドバスとハイヤーとの役割分担と共存に配慮した運行内容とします。</p>
<p>まずはこの計画でスタートするのはいいと思う。スタートするまでの利用促進策が重要です。高齢者など住民一人ひとりに利用方法を教えていくのかを検討してください。</p>	①	<p>循環バスの運行開始に合わせて、総合時刻表・路線図等の発行のほか、町広報紙やあびらチャンネルを活用して循環バスの運行を周知していきます。3月に発行予定の総合時刻表・路線図等には、乗り方ガイドなども掲載する予定です。運行開始後も継続して利用促進策を講じていきます。</p>
<p>乗車目的と接続交通はもっと広げて利用ノウハウとして告知すべきと思う。 1. 買い物も目的の一つとして重要なので、ルートの工夫や活用方法の例を考慮すべき。 2. JR利用促進のためにも夕張、岩見沢、苫小牧、帯広方面の接続も記載してはどうか。 3. あつまバス（苫小牧・千歳）との接続も記載してはどうか。 4. 追分駅から道の駅間の連絡もJRと連携して駅舎に掲示するなど利便性を宣伝すべき。</p>	②	<p>[1～3について] ご意見と同様の趣旨で発行している総合時刻表等への記載内容の工夫改善を引き続き行い、「なるほど、循環バスでこんな行き方ができるんだ。こんな公共交通の組合せ方ができるんだ」という気づきが得られるような利用周知に努めます。なお、記載にあたっては、情報量と見やすさのバランスに考慮し、限られた紙面の中で最大限の効果が得られるよう努力します。 [4について] ご意見のとおり実施します。</p>
<p>大人運賃200円は往復利用する人が多数でしょうから、負担感があると思う。他の自治体での私の経験では循環バスは100円でした。利用者が減ってしまっははいけませんので、再検討を望みます。</p>	③	<p>公共交通の共存を図り、持続可能な体制を目指すために、鉄道などの運賃やサービスとのバランスを考慮し、循環バスの1回乗車あたりの運賃は、大人及び中学生は200円、小学生は100円、幼児は無料とします。80歳以上の方や70歳以上で介護保険料第1～3段階の方、しょうがい者、生活保護世帯やひとり親世帯（小学生は対象外）など条件に該当する町民には、共通回数券の年間定額交付による支援制度を設ける考えです。</p>
<p>病院の利用者のことを考えて早来地区の病院付近のルートを考え直してほしい。</p>	①	<p>通院に公共交通を利用される方は、主に高齢者であると認識をしています。そのため、高齢者の身体状況等を考慮すると「ドアtoドア」の公共交通が理想的であるものと考えています。よって、通院のために利用していただく公共交通は、大きく地区を跨ぐ移動目的のための公共交通として位置づける循環バスではなく、自宅前から乗車し目的の停留所までドアtoドアの移動が可能な「デマンドバス又はハイヤー」が引き続き役割を担うものとし、JR、循環バス、ハイヤーとの役割分担と共存に配慮したルート設定とします。しかしながら、これまでの間、住民の方々からのご要望の中に「しののめ交流館への移動の足が欲しい」というご意見もありましたことから、しののめ交流館・渡邊医院・早来医院のご利用目的にも応用いただけるよう、「役場総合庁舎付近から町民センター坂下の緑地付近」までを自由乗降区間として設定する方向で関係者協議を行います。</p>